



寄付者の皆様へ

日頃より赤い羽根共同募金に温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

先般報道されました、北海道共同募金会における約1億8,000万円の使途不明金問題に関し、皆様には多大なるご不快の念と、強い不信感を与えておりますことを深くお詫び申し上げます。同じ「赤い羽根」を掲げ、地域福祉を推進する組織として、この事態を極めて重く受け止めています。

今回の北海道共同募金会での事件は、会計責任者が実質的に一人で資金を管理し、チェック体制が機能していなかったことが原因とされています。

これを受け、本会では「大阪府共同募金会における内部牽制体制について」を速やかに公表し、特定の個人に権限が集中しない仕組みを厳格に運用し、府民からお預かりした募金について適切に運営・管理していることを広く周知いたしました。

共同募金は、各都道府県内で独立して集計・管理され、皆様から頂いた募金の約7割が、皆さまが暮らす地域の福祉活動に直接届けられる仕組みとなっています。

今回の他県における不祥事によって、大阪の募金が減少してしまいますと、今まさに私たちの身近で支援を必要としている方々の日常や、地域の福祉活動が根底から崩れてしまいます。組織の不祥事によって、何の罪もない地域の弱い立場の方々へしわ寄せが行くことだけは、何としても避けなければなりません。

私どもの組織運営に対する厳しいお叱りは真摯に受け止めます。しかし、「自分の町を良くするしくみ」という赤い羽根共同募金の目的と、この大阪の地域福祉活動へのご支援は、どうか繋ぎ止めていただきますよう、心からお願い申し上げます。

令和8年7月  
社会福祉法人大阪府共同募金会  
会長 多田龍弘